いいで町 議会だより

203号

米坂線 絆まつり　関川村より和太鼓で応援



９月定例議会

携帯・スマホからアクセス！

９月定例会の概要　補正予算、条例改正……Ｐ２～３
令和７年度決算概要　実質公債費比率は改善傾向…Ｐ４～５
決算特別委員会……Ｐ６～９
町政を問う７名の一般質問……Ｐ10～13
常任委員会……Ｐ14～15
公聴活動　意見交換会……Ｐ16
特集「豪雨災害の備えに支援を」……Ｐ18
町民からのメッセージ……Ｐ20

令和８年10月25日　発行 山形県飯豊町議会　編集 議会広報公聴常任委員会　TEL 0238(72)2111
HP　https://www.town.iide.yamagata.jp/004/gikaidayori.html　直通 0238(87)0527

冬の生活応援、プレミアム商品券発行等の補正予算を可決

令和８年９月定例会は、９月８日から18日までの11日間の会期で開催されました。
一般質問は２日間にわたり７名が行いました。
第３日目の議案審議では、一般会計補正予算の専決処分の承認１件、条例一部改正が４件、一般会計補正予算（第５号）を含む各特別会計及び事業会計補正予算が11件を審査し、原案のとおり可決しました。
また、令和７年度会計決算認定13案件を特別委員会に付託し、審査しました。
第４日目は、総務文教・産業厚生の各常任委員会において所管事務調査を行い、８日目・９日目は、決算特別委員会において、決算について審査しました。
最終日には、令和７年度会計決算13案件を認定、追加提案された一般会計補正予算（第６号）を原案どおり可決、人事案２件について同意し、閉会しました。

一般会計補正予算（第５号）（第６号）は
１億4218万円を追加し
総額83億1343万円に

一般会計補正予算（第５号）の主な歳出

○低所得者世帯の冬の生活応援助成の追加　165万円
助成額を5,000円から10,000円に増額

○プレミアム付商品券発行事業補助金の追加　640万円
発行数を3,000セットから5,000セットに増加

○水田畑地化推進事業費補助金の追加　310万円

○白川ダム湖岸公園駐車料金システム工事請負の追加　1,200万円

○手ノ子スキー場リフト及び消防設備修繕等の追加　123万７千円

一般会計補正予算（第６号）の主な歳出

○地域農業構造転換支援事業　2,336万４千円

○林道補助災害復旧事業
（査定関連業務の費用追加）　1,500万円

○林道単独災害復旧事業
（単独災害復旧に係る委託料）　500万円



表紙の説明

めざみの里まつりと同時に、「米坂線絆祭り」が開催されました。これまでの「復活絆まつり」から「沿線絆まつり」と名称を変更し、メインステージでは「えちごせきかわ龍泉会」による和太鼓演奏があり、米坂線沿線の絆の強さを、音と熱気で伝えられました。

飯豊わくわくこども園 乳児部（大字中）を廃止へ

原案のとおり可決・決定

●承認

・農林施設災害復旧費及び公共土木施設災害復旧費

●報告

・令和７年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について 等

●人事

・教育委員会委員　伊藤（いとう） 孝之（たかゆき）（手ノ子）

・萩生財産区管理会委員

土屋（つちや）光栄（みつえい）　髙橋（たかはし）一範（かずのり）　嘉藤（かとう）敏昭（としあき）

後藤（ごとう）祐宣（まさのり）　後藤（ごとう）孝一（こういち）　長谷部（はせべ）元良（もとよし）

嘉藤（かとう）直昭（なおあき）

●条例改正

・認定こども園設置条例の一部改正

令和９年度から飯豊わくわくこども園乳児(中)を飯豊すくすくこども園(椿)に統合するため

・消防団条例の一部改正

団員定数を450人から400人に変更するため

・印鑑条例の一部改正

総務省令の制定及び法律の一部改正によるもの

・町税条例の一部改正

地方税法等の一部改正によるもの

9月定例会議案審議等の主な質疑

◆認定こども園の設置条例一部改正

●統合後の保育料は

質問　保育料の「同時入所で2番目のお子さんが無料」の今後は。

教育総務課長　乳児部と幼児部が別々でも、認定こども園に同時入所とし、今まで通り無料となる。



廃止のわくわくこども園乳児部

◆消防団条例一部改正

●消防力維持は可能か

質問　定数削減でも消防力を維持できるのか。

総務課長　現状４００名で災害対応ができている。また車輌台数も維持することから、消防力が低下することはない。

◆一般会計補正予算

●冬の生活応援

質問　冬の生活応援１６５万円の内容は。

健康福祉課長　３３０世帯を見込んでおり、町と県がそれぞれ５千円の計１万円を灯油購入の助成とするもの。

●除雪支援

質問　冬の生活応援の内容が灯油購入助成とのことだが、別途に除雪支援の拡充が必要ではないか。

健康福祉課長　現在の除雪支援として、高齢者世帯に中津川地区で１世帯２万円、他地区で１・５万円を補助している。

●屋台村使用料

質問　屋台村使用料が、今回の補正予算に計上された理由は。

商工観光課長　過年度分の使用料が歳入されたので計上させていただいた。

◆水道事業補正予算

●工事の増額理由

質問　工事請負費１千５百万増額の内容は。

地域整備課長　六郎沢水源からの仮設導水管を、町道大平線の改良工事に伴って本復旧するもの。

0.2%減　将来負担率は改善傾向

過去５年間の各基金残高

基準日　令和８年５月31日現在　（単位：万円）

基金の名称	令和３年度現在高(R4.5.31)	令和４年度現在高(R5.5.31)	令和５年度現在高(R6.5.31)	令和６年度現在高(R7.5.31)	令和７年度現在高(R8.5.31)
財政調整基金	5億1223	4億5969	3億8985	4億5801	3億3875
減債基金	2億9939	2億9234	2億5118	2億1025	1億6688
地域福祉振興基金	8944	9345	6596	2400	1254
公共施設整備基金	3億2054	3億2564	2億5502	1億1553	8508
地域振興基金	4507	4507	3898	2419	1662
いいでめざみの里応援寄附基金	6037	6037	37	37	5037
中小企業緊急災害等対策利子補給基金	1871	1280	773	348	0
企業版ふるさと納税地方創生基金	500	1000	330	440	477
スポーツ振興基金	2841	2842	1022	773	524
交通遺児等支援基金	501	501	501	501	502
小計	13億8417	13億3279	10億2762	8億5273	6億8527
国民健康保険財政調整基金	9562	1億0462	1億0462	1億0505	9966
介護保険介護給付費準備基金	1億7272	2億1103	2億3445	2億5325	2億5254
畜産振興基金	5526	5526	5526	5526	5011
森林環境譲与税基金	1063	1287	1207	807	629
奨学資金貸与基金	6446	5446	5446	5447	5449
土地開発基金	1億7165	3745	3745	3745	3750
財産区基金（４財産区）	7944	7315	7227	7205	7158
小計	6億4978	5億4884	5億7058	5億8559	5億7217
総合計	20億3395	18億8163	15億9820	14億3832	12億5744

基金残高は前年度より１億8088万円少ない12億5744万円で、前年度に比べ12.6%の減である。財政調整基金は、３億3875万円で適正額の標準財政規模（令和７年度44億8536万円）の10%相当額より低い状況にある。令和８年度に町償還金のピークを迎えるため、計画的な積立を図ることが必要である。

監査総評

一般会計決算における財政分析主要指数の推移を見ると、財政力指数0.198実質収支比率13.9%、経常収支比率95.8%であり、弾力性に乏しい財政状況下にある。町民総合センター大規模改修、中学校大規模改修及び新産業集積事業等の実施に伴う地方債残高の増加により、健全化判断比率などの指数では、実質公債費比率は年々増加してきたが７年度は若干減少した。将来負担比率は改善の傾向にあるが、まだ厳しい状況が続いている。

指摘事項

1．各基金の残高も減少し厳しい財政状況であるので、前例踏襲を見直し、歳出削減を積極的に実施されたい。
2．遊休公共施設について、早期解体が望ましいが、それが予算上制限されるのであれば、適当かつ最小限の維持管理を図られたい。
3．教育施設の再編が進められていることから、将来にわたって、人員配置を含めた詳細な計画を策定されたい。

令和７年度 決算概要 実質公債費比率は前年比

一般会計決算

歳入　80億5068万円　　**歳出　76億8136万円**

令和７年度の一般会計、各特別会計及び各事業会計の決算は、決算特別委員会において審査の上、全会一致で認定となった。一般会計決算では義務的経費の内、人件費は前年度より505万円増加し、前年度比0.4%の増加。扶助費は2552万円減少し、前年度比4.2%の減少。公債費は6743万円増加し、前年度比5.7%増加。財政状況の厳さを鑑み、更に経費削減に努め良い行政サービスの提供が求められる。また、これまでの大型事業により、地方債の償還金は、８年度にピークを迎え、令和10年度まで12億円前後で推移する。加えて各基金残高は減少し、厳しい財政状況であることから、この状況を全職員が共有し、これまでの前例踏襲を見直し、最大限の歳出削減に積極的に取り組むべきであり、議会もより一層注視していきたい。

過去５年間の公債費推移

（単位：万円、％）

区　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
公債費決算額	8億4815	9億2523	10億0325	11億8177	12億4921
歳出総額に占める割合	11.8	12.0	13.1	15.4	16.3
実質公債費比率	12.0	12.8	13.5	17.8	13.9

実質公債費比率は年々増加してきたが、当年度は13.9%となり昨年度より0.2%減である。

過去５年間の財政収支の状況

（単位：万円）

項　目	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
歳入総額	76億7421	82億5610	82億8879	80億7435	80億5068
歳出総額	72億0158	77億2425	76億7937	76億9338	76億8136
基金積立金	11	1億4445	16	16	75
基金取り崩し額	7800	4億0800	2億3500	1億7900	2億5000

用語説明

将来負担比率：将来負担する借入金の残高などから貯金など標準的収入に対しての割合の数値
実質公債費比率：町の借金返済額を標準的な財政規模で負担する割合を率で表したもの。
財政力指数：必要とする一般財源に対して税収入等がどれだけあるかを示す指数。
実質収支比率：この比率が黒字の場合は余剰金があること。３～５％が望ましい。
経常収支比率：経常経費に地方税、地方交付税、地方譲与税などの収入がどの程度充当されたかを見ることにより、財政構造の弾力性を判断する指数。
公債費決算額：町の借金の返済額。

は進むのか

総務文教所管分



決算特別委員長
遠藤芳昭

令和7年度一般会計、各特別会計及び各事業会計合わせて13件について、決算特別委員会を設置し審査を行った。
委員長に遠藤芳昭委員、副委員長に松山和好委員を選任し、9月15、16日の2日間を費やして慎重かつ活発な審査を行って、いずれも認定すべきものと決定した。

脱炭素先行地域事業

委員　脱炭素先行地域事業には、町はお金を使わないという事だったはずだか、すでに千251万円を支出している。これは何に対して支出したのか。

脱炭素推進担当課長　これは、申請そのもののために支出したもので、事業そのものに対して支出したものではない。
申請のための書類整備や業者選定のために支出したものです。



実施に向けて書類を整備

戸籍の氏名フリガナ

委員　戸籍の氏名フリガナ名に191万円とはなぜ高いのか。

住民課長　戸籍上の世帯主4728人にあてて密着ハガキ1枚を郵送する業務を外部に委託したためである。

関係人口受け入れ委託と創出ツアー

委員　関係人口受入基盤構築事業業務委託料244万円と、関係人口創出ツアー179万円の内容と成果は。

総合政策室長　一般社団法人いいで農村未来研究所に業務委託して、幸福感について調査した。その結果を可視化してこれからの施策に反映していくものである。さらに実際にツアーで7人の方に2回町内に来てもらった。その中にはその後継続的に飯豊町に関係している人もいる。

顧問弁護士委託料

委員　顧問弁護士業務委託料87万円に含まれる業務内容は。昨年のふるさと納税問題の相談料まで含まれているのか。

総務財務室長　業務委託料の中に年間の指導、助言等が含まれている。ふるさと納税問題の相談料も含まれる。

防火水槽の有蓋化

委員　防火水槽撤去業務委託150万円の内容と場所は。また、現在防火水槽は何カ所あり、そのうち無蓋のものは何カ所か。

総務課長　坪沼公民館の近くの無蓋防火水槽を有蓋防火水槽に替えたものである。現在163カ所設置されている防火水槽のうち、無蓋防火水槽は59カ所である。

令和７年度 決算特別委員会

脱炭素事業

役場内事務所の賃料は

委員　ふるさと納税業務受託事業者が商工観光課内に登記上の事務所を設け、社員を赴任させている未来創造（株）の役場一部使用料はいくらか。

総務課長　契約は１平方メートルを貸し付けることになっており、使用料は年間１８００円である。



ほぼ机の面積

町税未収を防ぐには

委員　町税の未収金が徐々に増加してきている。今後の対策は。

税務課長　マイナンバーカードの所有状況や固定資産税において居住実態がないなど、クリアするよう通知書の対策強化を進めながら新たな滞納者をつくらないように、訪問徴収や納税相談等に更に取り組む。



マイナンバーカード

地区別計画推進事業への町のかかわり方は

委員　今までの地区別計画推進事業において、町のかかわり方はどうだったのか。

まちづくり室長　各町づくりセンターの担当主事が、補助金交付申請時に面談したり協議会役員と意見交換したり総会に出席するなどしてかかわりを持ってきた。

きぼう塾の成果は

委員　約１２６万円の予算でおこなった希望塾の成果はどうであったか。

教育長　飯豊町には学習塾が無いという環境において、年間20回の英語と数学の学習塾を開催した。36名ほどの参加者で、高校受験対策が主たる目的だったようだ。学びの支援、意欲の喚起ということで一定の成果があったと考える。



今後の大型事業と遊休施設利活用は

委員　今後の大型事業に対する町の姿勢と、遊休公共施設の利活用はどうするのか。

総務課長　現在は災害復旧を優先しているが、大型事業にも向かいたい。遊休施設は耐震性がないものは解体、それ以外のものは利活用に向けて動きたい。



利用が望まれる空き校舎

国民健康保険特別会計（事業勘定）

委員　特定健康診査等事業、保健事業、糖尿病性腎症重症化予防事業などの取組を行なっているが、どのような成果を上げているのか。

健康福祉課長　健康診査の受診率が66％であり、給付についても一人あたり令和６年で４４３，９１８円、７年度は４２４，８３３円と減少している。保健事業等の効果は出ていると感じる。

は十分行われているか

産業厚生分

一般会計

●有害鳥獣被害対策

委員　有害鳥獣被害対策事業35万円の事業内容はなにか。

農林振興課長　害を与える恐れのある野生鳥獣の捕獲や個人で行う野生鳥獣侵入防止用電気柵の設置に対して県1／4、町1／4の補助を行う事業で、上限20万円である。7年度は4件の支援を行った。



有害鳥獣侵入防止用電気柵

●飯豊トンネル維持負担金

委員　林道飯豊桧枝岐線飯豊トンネルの維持管理負担金1696万円の内訳は。

農林振興課長　トンネル延長878mの内飯豊町の持ち分は53・1%。喜多方市分は46・9%の負担割合となり、トンネル内の電気照明やトンネル維持に係る経費に支出したものである。

●転作に係る「生産振興助成金」の実績は

委員　水田利活用自給力向上事業費の町単独補助である「飯豊町生産振興助成金」105万円について、どのような支援を行ったか。

農林振興課長　新規需要米15ha、ホールクロップサイレージ11・6ha、大豆15ha、アスパラ9・2ha、花き5・2haなどに補助を行った。今後も飼料用稲、新規需要米など生産調整の振興に努めたい。



林道飯豊桧枝岐線「飯豊トンネル」

●ふるさと寄付金

委員　ふるさと寄付金の使途、まちづくり事業の実績は。

商工観光課長　寄付額から経費を差し引いた額から5千万円を基金に積み立て、残りを総合計画で定めるまちづくり事業に充当しまちづくり事業は決算認定

令和７年度 決算特別委員会

有害鳥獣被害対策

後に町ＨＰに公表予定です。総務省からも公表するよう指示がある。

●空き家解体の実態はどうか

委員　老朽危険空き家解体補助金はどのようにして決定されているか。

地域整備課長　４～６月に解体希望者より申請を受け付け、不良度判定１００点以上が該当となる。補助率１／２で上限１００万円である。

委員　解体判定はだれが行うのか。

地域整備課長　対策協議委員会を設置し町建設組合から大工さんなど工務店の方に委員を委嘱して町職員も現場に出向き判定している。



放置されている「空き家」

●町営住宅の入居状況は

委員　飯豊町定住促進住宅「いいでハイツ」「瑞穂寮」の入居の状況はどうだったか。

地域整備課長　「いいでハイツ」は33戸の入居で56・９％の入居率。建設して32年が経過し、施設の老朽化からトイレ、風呂、シンクなど水回りの修繕が必要になってきている。また、令和４年の豪雨災害で入居されている方もおり、必要に応じて対応していきたい。中津川の「瑞穂寮」は２世帯が入居している。



飯豊町定住促進住宅　いいでハイツ

●「おいたま荘」負担金の根拠は

委員　おいたま荘運営負担金９１３万円となっているが、入所者は何名か。

健康福祉課長　本町から２名入所されている。負担金の割合は１市２町の人口割となっており、本町では12％を負担している。入所者の減少から経営は悪化している。

●老人福祉の配食サービスは

委員　老人福祉の配食サービス１７１万円について、利用者は何名か。配達業者への配慮はどうなっているか。サービスには見守りも含まれるが実際機能しているのか。

生活福祉課長　14戸に配食している。単価１２００円。配達に係る費用は１時間当たりの単価を設定し行っている。配食と同時に見守りも行っている。必ず会話を行うことにより安否も確認している。



養護老人ホーム　おいたま荘

事業会計

●水道事業会計

委員　令和７年度決算で１１３６万円の純損失決算となった。令和８年度料金改定を行ったが、黒字に転換するのはいつの見込みか。

地域整備課長　令和７年度決算は純損失を計上したが繰越金・剰余金等で損失対応した。それでも６年度と対比して３６０万円改善をしている。これに伴い、令和８年度料金改定を行い、10月から10％値上げさせていただいた。見込みでは９年度、遅くても10年度には黒字転換を図りたい。

一般質問 町政を問う ７人の議員が質問に立つ

議席番号	氏　名	質問事項（★は本文に記載、☆は未記載）	ページ
2	島貫（しまぬき）　寿雄（ひさお）　議員	★暮らし満足度No1はフォレスト再生より新役場を。 ☆財政破城から脱却した夕張から学ぶ事。 ☆少ない小売店の廃業が続く現状に打つ手はあるのか。	P10下
7	遠藤（えんどう）　芳昭（よしあき）　議員	★水害常襲地区における防災対策は。 ★ふるさと納税のその後。	P11上
4	髙橋（たかはし）　勝（まさる）　議員	★水害対策は待ったナシ。今後の復旧計画を問う。 ★これからの移動支援のあり方を問う。 ☆今後の運営方針とペレット供給は。 ☆関係人口って、必要ですか。	P11下
3	遠藤（えんどう）　純雄（すみお）　議員	★米坂線復旧の状況は。 ☆人口減少を前提とした持続可能な町の姿は。 ★本町の森林活用はいかに。	P12上
5	舟山（ふなやま）　政男（まさお）　議員	★水害に遭った住宅等にあって、再度水害に遭うことが予想されることについての対応は。	P12下
6	松山（まつやま）　和好（かずよし）　議員	★脱炭素に疑問。今後の進め方は。	P13上
9	菅野富士雄（かんのふじお）　議員	★新たな水田政策のもと、町農業の振興策は。 ★高齢者福祉の一環として、各種細菌・ウイルスに対してのワクチン接種に町独自の拡大支援を考えてはどうか。	P13下

一般質問は質問した議員が自らの責任で執筆しています。

議会中継を見ることができます

知れば得する議会の基本「一般質問について」

一般質問は定例会の本会議において、議員が執行機関（町長や教育長）に対して、行政全般（公共事務、行政事務の一切を含む）について質問を行うことです。一般質問では、執行官の所見や施策について報告を求めたり問いただすこともあります。

暮らし満足度No.1の未来図はフォレスト再生より新役場を

町長　新庁舎は財政面で慎重に検討　高付加価値滞在型観光に転換

多額の予算を注ぎ込むならフォレスト再生ではなく新役場建設では

質問　エレベーターの無い実質４階５階建ての役場では転倒のリスクが大きい。年間転倒によって亡くなる人が交通事故の３倍の一万一九四五人もいる。大地震に対しても耐震性に不安な役場の建替えは喫緊の課題では。

町長　公共施設の将来については検討しているが新庁舎建設に対する国庫補助金等は原則存在せず、財政面の課題もあり慎重にならざるをえない。

質問　３月議会でフォレストいいで再生を含む未来交付金が否決されて半年、嵐町長は観光事業、ホテル業の事を勉強されて来たのか。

町長　突出した勉強はしてはいない。交付金が否決され、今後どの様に進めるか町民の声を聞いてきた。７月の水害があり一旦足を止めることにした。

再質問　町長は１９８０年開業の新潟県のロイヤル胎内パークホテルに行った経験は。この夏、お城の様な建物、豊かな温泉、素晴らしい料理、好感度の接客を経験し感動して来た。嵐町長もその様な施設に足を運び勉強すべきでは。観光とは建物の改修、高価な料理だけではなく総合的な大変な事業だと思うが。

町長　実際行ってみなければとの自覚は持っている。環境も含めて胎内の様には出来ないが、本町も総合的に環境整備をして観光振興を計りたい。



まるでお城の様なロイヤル胎内パークホテル



島貫（しまぬき）　寿雄（ひさお）　議員

水害常襲地への対応はふるさと納税のその後

教育長

椿排水路整備要望中・浸水地事前対応
コメ誤発送問題10月以降適切処理へ



遠藤 芳昭（えんどう よしあき） 議員

水害常襲地への対応

質問　椿地内での抜本的な災害対応が遅れている。区民が要望している八幡排水路の白川への放流、台沢のクランクの解消等の対応は。また水害常襲地には土のう等を事前に配置すべきではないか。

町長　八幡排水路はいち早く白川へ排水するための対応に努めていく。台沢はクランク部も含め９年度から国の補助事業を要望している。

放流ゲート設置し対応、事前に土のうを備える

浸水常襲地には、土のう等を計画的に配備するよう努める。

ふるさと納税コメ返礼品誤発送の責任は

質問　ふるさと納税の誤発送問題で、町長が自らを処分したが、請負者の責任はどのようになっているか。行政のあるべき規律や品格にも関わり、町民から信頼のある毅然とした対応が必要ではないか。

今後適切に処理する

町長　現在関係機関において確認がすすめられている。町として必要な対応について適切に判断する。今年度も適切な事務処理で同業者に委託した。



抜本的な対応が求められる
台沢からの水害常襲地

水害対策は待ったナシ 今後の復旧計画は

町長

県と土地改良区・町による
協議の開催を準備中



髙橋 勝（たかはし まさる） 議員

４年前と重なる被災箇所だが

質問　水路からあふれ出す状況は４年前と同様で、水路の越水対策は急務である。災害後の関係機関との協議は。

町長　４年前と重なる被災箇所となっており、従来の水路インフラだけでは十分な対応とならないことが明らかになった。今後、県と土地改良区・町による協議の開催に向けて準備を進めている。堤防機能の強化や新たな排水対策など、抜本的な対策について意見交換を行う。



排水路から越水

センターの環境整備は十分か

質問　今回の水害では、まちづくりセンターに避難所が開設された。普段は地域の活動拠点となっているおり、冷房設備の有無で活動が制限されては困る。今後の冷房設置について、町の考えは。

町長　各センターの状況を踏まえ、未整備施設は優先順位を定め、計画的な冷房設備の導入を進めたい。

これからの移動支援の在り方は

質問　町内の公共交通機関が乏しい状況において、高校生に特化した通学支援を。財源はふるさと納税で。

町長　多様な交通弱者との公平性・バランスに配慮する必要がある。

米坂線復旧の状況は　森林資源活用はいかに

町長　沿線自治体と協議中　バスも含め検討する。



遠藤（えんどう）　純雄（すみお）　議員

米坂線の現在の復旧状況は。ＢＲＴを含めた復旧の検討は

質問　令和４年８月豪雨から４年が経過したが米坂線はいまだ不通のままとなっている。関係機関の復旧協議の状況は。また、ＢＲＴを含む復旧の検討は行ったことはあるのか。

町長　将来にわたり地域の移動手段確保という観点から早急に結論を出していく必要があると認識している。今後はＢＲＴを含めたバス転換という選択肢も排除せず、それぞれの運営方式について、町民の利便性、通学・通院の生活交通、広域交通としての役割、整備や維持にかかる費用、さらには将来的な持続可能性を総合的に比較し、沿線自治体・関係機関と協議を進めたい。



ＢＲＴとは
バス高速輸送システムで九州の日田彦山線などで採用されている。

町の84％を占める山林を資源として活用できないか。

質問　森林保全管理だけでなく、資源として産業へつなげる視点が必要ではないか。町内で燃料用の薪が購入できない。

町長　現在、木材の伐採・運搬・乾燥・製材・加工・販売など一連の工程を町内で行うには課題があることから、町内事業者と連携して森林資源の地域内循環の実現に向けて検討していく。燃料用の薪についても供給できるよう対応を進めたい。

再度水害に逢うおそれのある住宅の対応は

町長　皆様が同じ不安を抱かないようにする。



舟山（ふなやま）　政男（まさお）　議員

県、国への強い要望については

質問　７月26日の水害にあって、次回このようなことがあったら、家業と家を捨てて引っ越すことを考えていたとの声が寄せられている。過去に被災された方を含めて、町が調査を行い県、国に強く要望することについては。

県、国と連携しながら取り組んで行く

町長　過去に被害を受けられた方を含め、被災された皆様からのご意見やご要望を丁寧に把握することが重要であると考えている。町として、現地の状況確認や関係者からの聞き取りを行い、必要に応じて被害の実態、再発防止に向けた課題、住民の皆様のご要望を整理したうえで、国及び県に対して、より実効性のある対策を強く求めていく。

質問　住民の皆様が特に強く求めておられる対策等についての情報を提供していただきたい。

町長　町としては、いただいた情報を踏まえながら、関係部署で共有し、県や国への働き掛けや必要な調査を行い、今後の防災・減災対策の検討に生かし、住民の皆様が同じ不安を繰り返し抱くことのないようにする。

町としてできることを一つ一つ確認し、県、国とも連携しながら、地域の安全・安心の確保に向けて取り組んで行く。



４年８月豪雨で多くの家財が廃棄された

脱炭素効果に疑問 今後の進め方は

町長
脱炭素の実現に寄与することはご理解いただけると考える。循環型社会をめざす



松山 和好（まつやま かずよし） 議員

本当に脱炭素なのか

質問　１年も前から本当に脱炭素効果があるのかと質問してきたが今でも数値を明らかにしていない。このまま事業を進めて行っても良いのか伺う。

町長　国に認定いただいた計画に基づき着実に進めたいと考えている。脱炭素社会の実現とともに、飯豊町を米沢牛の主産地として次世代に引き継ぐためにバイオガス発電事業を推進していく。

計算は難しくない

質問　脱炭素になるのかどうかという事は本来は申請する前に確認すべき事ではないのか。たまたま今回は事業予定地の道路向かいにすでに同規模のバイオガス発電施設が稼働している。これをもとに計算すれば３日もあれば数値がでてくる。しかし現在も数値で表さないという事は意図的に隠しているとも考えたくなるが。



ながめやまバイオガス発電所と同じ規模の施設が計画されている

町長　決して隠すつもりは無い。議員が要求する数値を教えていただきたい。

施設稼働エネルギー
＋
バイオマス運搬エネルギー
＋
発生する熱量
－ 生産するエネルギー
＝ **本当に減るのか**

今後の進め方は

質問　後ほど紙面で示すことにする。数値にかかわらずこの事業を進めるのか。

町長　米沢市と共におこなう事業であるので、随時県、国と協議しながら進めていく。

新たな水田政策のもと 町の振興策は

町長
プッシュ型による取組み強化で



菅野 富士雄（かんの ふじお） 議員

農水省幹部が各地に説明とのこと

質問　次年度より米の中長期対策が示された。農水省は各自治体に丁寧に説明と聞くが本町への対応は。

町長　９月８日にＷＥＢ会議が行われました。今後も説明がある。

直接支払交付金を有効活用するには

質問　中山間直接支払・多面的機能直接支払、再交付金における支援拡大策は。

町長　事務負担軽減の観点から、既存組織のままで両交付金に申請できる。ただし、町の財政負担が増えるので国に支援を求めていく。

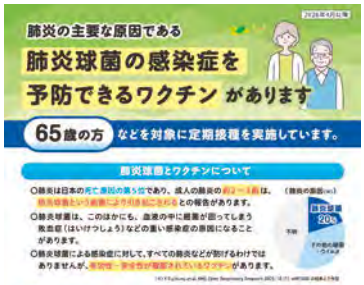


今年も作柄は良好だ

ワクチン接種に町独自の支援は

質問　肺炎球菌ワクチン・帯状疱疹ワクチン接種などの定期接種が話題になっているが、これらに対する町独自の支援策は。

町長　65歳以上の定期接種などに町独自の支援をおこなっている。これら支援の拡大については接種率、財政負担等のさまざまな要件を勘案して対応していきたいと思う。



厚労省のホームページより

有休公共施設の利活用検討方針管理運営を

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

◆有休公共施設の利活用に向けた検討について

耐震性のない建物は、歴史的、文化的に保存すべきと判断されたものを除いて解体する。耐震性のある建物は、政策的な活用及び地域での利活用を優先的に検討し、活用しない場合は一般公募を実施する。応募がない場合は解体する。

（企画課）

◆手ノ子スキー場利用促進について

利用促進を促すため試験的にシーズン券（大人）についてシルバー割引を実施したい。

◆菅笠後継者育成特別講座の開催について

・菅笠製作
日時　９月19日㈯
　　26日㈯９時～16時
場所　岩倉公民館
・菅笠の骨組み作成
予定　11月７日㈯
　　11月14日㈯

（社会教育課）

◆飯豊町カスタマーハラスメント対策基本方針について

改正労働施策総合推進法に基づき、本年10月１日からカスタマーハラスメント対策が義務化される。

◆令和８年度飯豊町総合防災訓練について

日時　11月８日㈰
　　午前７時～
場所　第二小学校

（総務課）

◆ごみ処理手数料の改正について

令和９年４月１日から直接搬入ごみ並びに粗大ごみの処理手数料が変更される。

◆戸籍、戸籍附票、住民票の振り仮名について

本籍人口８５２３人
内飯豊町民５５００人

（住民課）

主な質問と答弁

●有休公共施設管理

４月から空き校舎になった小学校２校以外に有休公共施設の夏場の除草、冬場の除雪管理を予算化してもらいたい。

総務課長　有休公共施設が増えているのでなかなか、管理出来ていないところは承知致している。次年度から予算措置を検討したい。

●あーすの芸術文化事業をさらに

あーすを大規模改修したが他町村と比較して芸術鑑賞事業が少ないように思われる。町民が見たくなるような本物の映画や演劇・落語など、積極的に企画すべきでは。

社会教育課長　町は芸術文化協会の活動を支援しているが、町民のニーズを把握しながら検討していきたい。

●中学の進路指導は

令和８年度から高校の授業料が実質無償化になっている。バス送迎のある高校への志望が増えていると聞くが、中学の進路指導への影響は。

教育長　制服や交通の便が選択の基準に入っていると聞く。夢、あこがれと、強い意志を持たせ、共に考えていくことが指導の鉄則である。

●成果のある説明会に

バイオガス発電の説明会には、10年後、20年後も責任をとれる方に出席してもらいたい。

脱炭素推進担当課長　事業を行う会社の代表取締役と取締役２人の３人が出席する。

●新協力隊員着任

令和８年10月から赴任する地域おこし協力隊の職務は。

まちづくり室長　まちのプロモーションに活用する「映像クリエイター」である。

●床下の排水状況は

中部地区まちづくりセンター床下の水たまりはどの様に対応するのか。

企画課長　今だ水たまりの状態になっている。水をくみ上げることができない状態になっている。（９月定例会補正予算に排水対策に係る調査業務委託料20万円）



床下の水たまり状況

付帯決議の商業振興事業（不動産鑑定業務委託）のその後は

産業厚生常任委員会

各課からの主な報告

◆7月26日豪雨災害の被害状況について

・農地（田）
畦畔欠損等　22箇所
・水路、農道等
溝畔欠損、土砂埋塞等
１０１か所
・揚水機
水位計器破損　1個所
・林道
路肩欠所、路面洗堀
３路線13か所
（農林振興課）

◆専門職大学の承継に関する今後について

新聞報道で法人理事長が「承継断念」と発言をされているのを受けて、9月下旬で面会日程を調整している。
（商工観光課）

◆町内での買い物アンケートについて

・対象者数（15歳以上）
５０１６人
・回答総数　１０７３件
・回答率　21・4％
（商工観光課）

◆高齢者元気生活応援商品券配布について

・対象者　２５２５名
・換金率　26・3％
9月8日現在
（健康福祉課）

◆森林育成活動（NXの森）について

10月10～11日に、中津川地区を中心に活動が行われた。今年度で活動開始から20年となった。
・内容　森林育成活動、農業体験、記念式典
・参加人数　52名
（農林振興課）

（地域整備課）

主な質問と答弁

●買い物支援対応

質問　4月の臨時会で上程され付帯決議された商業振興事業（セルカ関連不動産鑑定業務委託）について、その後の経過は。

産業連携室長　アンケート調査結果の取りまとめを行っている。また住民代表、要望書を出した団体、商工会、健康福祉課から参加いただき、「買い物拠点整備検討委員会」を立ち上げたが、開催に至っていない。

※付帯決議とは。
議案を議決するにあたって、議会の要望意見として付すもの。法律的な効果ではなく、政治的に尊重されるべきものとされている。



町内での買い物の今後はどうなる

●買い物アンケート

質問　買い物アンケートは内容を吟味し、スーパー営業時と閉店後の現状把握が必要では。

商工観光課長　アンケートでの再調査はできないので、得られた回答を可能な限り詳細に分析し役立てたい。

●米概算金減額対応支援策は

質問　令和8年産米の概算金が、昨年より大幅な減額となった。離農の心配もあるが、今後の対応は。

町長　今後関係団体との協議の場で、どのような支援があるのか検討していく。

●飯豊米のPRを

質問　今こそ、飯豊産米をふるさと納税で売り出すチャンスでは。

町長　納税者としてもお米は利用しやすいと思うので、まずは町内産米の確保に努めたい。

●農業担い手支援事業

質問　担い手支援事業で応募者が3名300万円だが、支援額の総額は。

農林整備室長　総額５００万円の予算となっており、再募集を行う。

「町民との意見交換会」3団体と開催

出されたご意見等は議会から町執行部に政策提言や一般質問という形で進言して参ります。

飯豊町婦人会　8／30

テーマ　**買物場所等身近な話題**

萩生の中部まちづくりセンターにおいて婦人会の皆様12名からお話をお聞きしました。

〈出されたご意見〉

■セルカが閉店して、買い物ができず不便に感じている人が沢山いる。

■道路が狭く雪も下せない場所があり、救急車も難儀している。消雪道路で水が出ない。

■町の空き施設が多くなっている。有効的な活用をしてほしい。

■クマ・イノシシ被害が心配だ。

議員からの感想

婦人会の皆様からは生活に密着したさまざまな内容についてご意見をいただきました。生活に不便がない町にしなければならないと考えを新たにいたしました。



聞き取り
髙橋　亨一　議員
遠藤　芳昭　議員
遠藤　純雄　議員

未来カフェ　8／30

テーマ　**若い人、移住された方達の生の声**

●「未来カフェ」とは　町のありたい未来像を考え、自ら実践する若者の集い。

〈出されたご意見〉

■誰もが自由に声をあげられる町を望む。

■無料の文化的な集まりの場があれば良い。

■女性子供が住み易い町づくり。（学習塾等）

■お金は百歳に百万より子供未来に使うべき。

■買物が不便な町からは人が出て行くのでは。

■除雪体制と遊休施設の今後を真剣に検討を。

議員からの感想

若い人や移住者の方の意見が大変参考になりました。町や議員に対する厳しい意見もありましたが、真摯に受け止め、今後の活動に生かしていきたいと思います。



聞き取り
髙橋　勝　議員
舟山　政男　議員
島貫　寿雄　議員

町外で活躍する飯豊人　9／19

テーマ　**空き校舎の利活用が課題**

ユニークな廃校利活用の方法についてお聞きしました。

〈出されたご意見〉

■若者にとっては出会いの場が少ない。

■お年寄りの課題は移動手段と買い物、医療の充実

■働き盛りの人には職場が少ない。

このうち2番目の事は工夫で何とかなること。その一つが廃校（特に添川小など）利用で幼稚園ならぬ老稚園（高齢者の集合住宅・グループホーム等）を運営すること。これにより不要な除雪、独居老人の孤独、家庭内事故死などに効果的。

議員からの感想

お話をお伺いして、常に飯豊町に思いを寄せてくれていることに感謝するとともに、これから問題になる空き校舎に対して飯豊町の高齢化問題と関連付けての妙案をいただきました。



聞き取り　菅野富士雄　議員
松山　和好　議員
横山　清彦　議員

高規格道路・米坂線早期復旧・農業支援
国と国会議員に　議会運営委員会が要望活動

整備と復旧に理解と支援を

飯豊町議会議会運営委員会では、7月29日㈫から30日㈬にかけ、「地域高規格道路飯豊区間早期着工」「米坂線早期全線復旧」「物価高騰に対する農家支援や農業政策の充実」等、町の重要課題について、国土交通省道路局はじめ農林水産省、財務省及び県出身の国会議員に対し、本町の実状を訴え、早期の支援を要望した。





鈴木農林水産大臣(当時)(上)舟山参議院議員(右)に要望書を提出した

中央研修　新たな水田政策　地域未来交付金

同委員会では7月29日に農林水産省より「新たな水田（コメの中長期）対策の基本的考え方と仕組み」を。内閣府地方創生推進事務局からは「地域未来戦略の推進について」、担当者より現状から将来を見据えた政策づくりの背景を学んだ。

賑わいづくりへの知恵　村山市と大江町の廃校活用

町議会総務文教常任委員会では、9月30日㈫村山市の旧楯岡高校をリノベーションし市民が気軽に立ち寄れるオープンスペースと多種多様な20の民間事業者が入居する「Link MURAYAMA」を。大江町では閉校舎を自然体験を目的とした交流施設「山里交流館やまさぁーべ」を視察した。



リノベーションされ賑わいが生まれた旧楯岡高校

いずれも、そこに関わった「人」の思いが伝わった施設と運営であった。

ながめやま施設の臭気対策を調査

10月2日㈮町議会では添川の飯豊ながめやま牧場とながめやまバイオガス発電所における「臭気対策の状況」を調査した。家畜等から発生する臭気を減らすため設置している設備と、今後の計画についての説明を受けた。



ながめやまバイオガス発電所に設置された脱臭装置

「川西まちなかテラス」の施設づくりを研修

10月2日㈮置賜地方5町議会議員交流会が川西町で開催され、5月にオープンした「川西まちなかテラスまちりあ」の担当者からの説明を受け、施設の状況を見学した。施設は旧川西町役場跡地に建設されたもので、町なかの賑わいづくりを目的に運営されていた。



賑わいづくりの拠点川西まちなかテラスまちりあ

特集

豪雨災害の常態化に対し
地域での備えに支援を

今年は日本全土で大型台風や線状降水帯により、これまで経験したことのない被害が多く発生している。本町でも近年、家屋が浸水する被害も多く、それも同じ家屋が何度も浸水被害を受けているため、町に対して、洪水常襲地（家屋）には、豪雨時の浸水を防ぐために予防的な対策を行うよう提案している。

豪雨被害の実状

令和4年8月の線状降水帯豪雨はじめ、令和6年7月、そして本年7月26日の豪雨と、2年おきに洪水が発生し床下浸水が常襲化している。いつも同じ地区、同じ世帯が繰り返し浸水し被災している。

令和４年８月豪雨災害の実態

住家床下浸水	142戸
住家床上浸水	49戸
住家以外の被災	80件（被災証明した分）
避難所開設数	９箇所
最大避難者数	326人



洪水被害の常襲地

災害時行政・消防は要請どおり動けない

洪水は町内全域で発生するが、消防団員は減少し、各地区に分散されており、最低限の人員で対応している。

行政職員は避難所設置・被害確認・住民連絡・道路・水防対応で手一杯の状態になる。すべての浸水対応要請には十分に応えられないのが現実である。



救助要請に応えられない場合も多い

自主防災の力に期待

「町内全域同時多発災害」で行政・消防は十分に動けない。公助の限界が明確になっており、自助・共助の強化が不可欠といえる。つまり、「自主防災会」の機能や設備を強化し、地区での初動対応の力をつけることは、町民の命と暮らしを守る最も確実な方法であり、災害に強いまちづくりに繋がっていく。

このため「浸水常襲地区への水防機材の優先配備」等、自主防災会の機能強化を具体的に協議し、地域の実情に併せてより的確に示す必要がある。

自主防災会へ水防資材を

自主防災会は住民組織であるが、実際には高齢化・人員不足もあり「装備がなければ動けない」のが現実で、特に洪水常襲地区では、土のう・砂・止水板・排水ポンプ・資材庫等の水防資材などが必要である。災害基本法にも「命を守る最低限の資材」「行政が支援しての水防訓練」など「住民の自助・共助を行政が支援する義務」が明記されている。今後も町の積極的な支援を要請していく。



自主防災会へ水防訓練を

広域行政事務組合議会報告

「広域行政事務組合議会」とは、広域行政組合（事業団）等に関係する市町が共同で処理する事務事業について、条例の制定や予算・決算を決定する「議決機関」です。

議会は、事業運営の監視・意思決定などの役割を担っており、関係する市町議会から選出された議会議員で構成されています。飯豊町は以下の３広域行政組合に所属しています。

今回は、６月末から９月末までの報告です。

置賜広域行政組合議会

●置賜広域と西置賜行政の統合

統合については、現在検討中です。置賜全体の人口の推移を見た場合、将来的には統合が必要となるとの判断から、検討を継続していくこととしています。

●ゴミ処理手数料の一部改訂

千代田クリーンセンターではゴミ処理原価の高騰により、令和９年４月より搬入手数料を１８０円から２３０円に、粗大ゴミ処理手数料を最大１５００円を６０００円に引き上げ、重量区分や品目毎の手数料を見直すこととしました。

委員　屋嶋雅一・松山和好・髙橋　勝



置賜広域行政事務組合が運営する
千代田クリーンセンター

置賜広域病院企業団議会

●病院内施設の視察

８月17日㈪議員全員協議会において、公立置賜総合病院内の施設を視察しました。案内を受けた施設は●患者サポートセンター●リハビリテーション科●放射線治療●薬剤部●医療資材管理●滅菌センター●給食厨房●臨床検査室等でした。そこで運営方法、課題等の説明を受けました。

先進的な医療設備や検査機器、医療技術に敬服し、衛生業務や薬剤・給食等も患者一人一人に寄り添った組織と管理体制でありました。

委員　屋嶋雅一・舟山政男・遠藤芳昭



先進医療機器と技術について
説明を受ける（放射線科）

西置賜行政組合議会

●燕・弥彦市消防本部を視察

８月３日㈪新潟県燕市と弥彦村を管轄する消防本部で高齢期消防職員の能力活用や人員配置役割分担などの取組を進め、高齢期職員の活用などについて研修しました。

●養護老人ホーム松鶴荘を視察

８月４日㈫松鶴荘は、昭和53年新潟市が整備し、平成26年４月から社会福祉法人が指定管理者として運営を開始し、令和４年４月から同法人に事業譲渡されました。公設から民営へ移行されたその経過や民営後の事業について研修しました。

委員　島貫寿雄・遠藤純雄・横山清彦



入所者の生活環境や
安全性の向上について研修（松鶴荘）

町民からのメッセージ

〈JR米坂線、代行バス〉

第10回　利用しているご父兄のみなさんより

※議会だよりの感想や議会への自由なご意見をお聞かせください。

議会だよりでは町民の皆様の活躍やご意見を紹介しています。今回は「めざみの里まつり」と同時開催された「ＪＲ米坂線沿線絆まつり」にちなみ、代行バスを利用している学生のご父兄にインタビューさせていただきました。

米坂線代行バスを利用されて率直な感想を聞かせてください

●手ノ子駅発が６時12分発と早いので、今泉まで送って、そこから鉄道に乗せている。■６時21分発の椿から乗り換え米沢に向かっている。次の６時54分だと学校に間に合わないので。



JR米坂線代行バス


長瀞踏切から北。柳の木か

●バスがだめなのはテスト期間、お盆と正月の帰省客が増えるときだ。以前はマイクロバスという時期もあり、普段あまり混まないバスがものすごい客数になる。乗れないお客様はタクシー対応ということで、遠い人が、優先的に代行バスに乗り、比較的距離の近い人はタクシー対応となる。ただしタクシーはその状態になってからの手配なので、来るまでに時間がかかる。

●学生は定期を購入して乗っているが、一般の人でバスは無料だと思っている人がおり不公平な状況が見受けられる。今回から「復旧絆祭り」から「沿線絆祭り」とトーンダウンした。絆祭りのセレモニーもなくなり両県知事も来なくなった。これで復旧が進むのか心配している。



椿駅構内に飾られている復旧を願う絵

取材を終えて

米坂線が代行バスになって４年。バスと鉄道比べてどうですかという質問したかったのですが、今の学生は鉄道に乗ったことがないからわからないとのこと、今の高校生は代行バスしか乗ったことがないのでした。

議会定例会の傍聴をお待ちしています。

次回の定例会開催は**12月３日㈭予定**です。

インターネットで配信も行っています。
議会のホームページからお進みください。録画もあります。

お問い合わせは議会事務局へ　TEL 0238−87−0527

編集後記

雨天模様の不順な天候が続いています。それでも稲穂が黄色に色づいてきました。出穂日から積算温度で１０００～１１００度が刈り時とか。どうか良質米であることを祈るばかりです。敬老会が終わり、収穫祭が終われば冬支度。最近まで「暑い暑い」と連発していたが、これからは厚い布団にくるまって眠ります。どうぞお体、ご自愛ください。

（遠藤純記）

発行責任者
議　長　屋嶋　雅一
発　行
広報公聴常任委員会
委員長　遠藤　芳昭
副委員長　横山　清彦
委　員　島貫　寿雄
委　員　松山　和好
遠藤　純雄
髙橋　勝